

国語 二一	第三学年及び第四学年の内容 慣用句	名前	年	組	番
----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の に当てはまる言葉をあとの から選び、書きましよう。また、 の慣用句の意味をあとのAからDの中から選び、 に書きましよう。

① 母はお祝いいはの日の料理ひ りょうりでは、いつも以上いじょうに、 うでをふるう。

② 野球場やきゅうじょうにいる観客かんきやくは、彼の見事かれ みごとな技わざに 舌をまいた。

③ バスケットボール大会たいかいの本番ほんばんを前まえにして、 血が騒さわぐ。

④ 何度なんども 足をはこんで、ようやく撮影さつえいすることができた。

血 <small>ち</small>	足 <small>あし</small>	うで	舌 <small>した</small>
--------------------	---------------------	----	---------------------

A 自分じぶんのうで前まえ・技能ぎのうを存分ぞんぶんに人ひとに見せる。

B あることのために、わざわざ出向でむく。

C 気持ちきもちが高ぶたかって、じっとしていらなくなる。

D あまりにもすぐれていて、ひどくおどろく。

国語 二一二	第三学年及び第四学年の内容 慣用句	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日
月 日

次の に当てはまる言葉をあとの から選び、書きましよう。また、 の慣用句の意味をあとのAからDの中から選び、 に書きましよう。

① 学校の帰り道に、いつも を食っている。

(D)

② を売ってばかりで、なかなか家に帰ってこない。

(C)

③ 正しい答えを出そうと、 をひねる。

(B)

④ わたしの家の庭は、 のひたいほどの広さしかない。

(A)

油	ねこ	頭	道草
---	----	---	----

A きわめてせまいことのたとえ。

B むずかしいことを、熱心に考えること。

C 人目をぬすんで、なまける。

D とちゅうで、他のことに時間をついやす。

国語 二二三	第三学年及び第四学年の内容 慣用句	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の に当てはまる言葉をあとの から選び、書きましよう。また、 の慣用句の意味をあとのAからDの中から選び、 に書きましよう。

① 社長の の一声で、計画が決まった。

(B)

② そのふたごは、まるで 二つだ。

(A)

③ をつかむような話で、とても信じられない。

(D)

④ 彼とは、みように が合う。

(C)

うり	つる	馬	雲
----	----	---	---

A 顔かたちが、よくにている。

B 立場が上の人の一言でものごとが決まる。

C 相手とおたがいに、気心が合う。

D まったくつかみどころがない。

国語 二一四	第三学年及び第四学年の内容 慣用句	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日
月 日

次の に当てはまる言葉をあとの から選び、書きましよう。また、 の慣用句の意味をあとのAからDの中から選び、 に書きましよう。

① 二つのチームが、 を散らして、優勝をあらそう。

(A)

② 転校していく友達のために をこめて歌う。

(C)

③ 努力は必ず を結ぶと信じている。

(B)

④ 兄の をわったようなせいがかうらやましい。

(D)

実	火花	竹	心
---	----	---	---

A たがいにはげしく、勝負をあらそう。

B 努力の結果が表れ、成功する。

C 思いやりの気持ちで、心の中をいっぱいにする。

D せいかくが、さっぱりしている。

次の に当てはまる言葉をあとの から選**え**び、書**か**きましよう。また、 の慣用句の意味をあとのAからDの中から選**え**び、 に書**か**きましよう。

① 会**かい**場**じょう**が、急**きゅう**に を打**う**ったようになる。

② 悪**わる**者は、 くもの子**こ**を散**ち**らすようににげさった。

③ 物**もの**か**げ**から 息**いき**を殺**ころ**して、様**よう**子**す**をうかがう。

④ 話**わ**がは**はず**み、時**じ**間**かん**がた**つ**のをわすれていた。

息 <small>いき</small>
話 <small>はなし</small>
くもの子
水 <small>みず</small>

A 大**だい**ぜい**い**の**もの**が、散**ち**り散**ち**りにな**っ**てにげていくこと。

B こき**ゆう**の**音**も**おと**させないで、じ**つ**として**い**ること。

C 楽**たの**しかったりき**よう**味**み**深**ぶか**かったりして、会**かい**話**わ**が活**かつ**発**ぱつ**に**つづ**くこと。

D その**ば**に**い**る大**おお**勢**せい**の**ひと**々**びと**が静**しず**まりか**え**る**さま**。

次の に当てはまる言葉をあとの から選び、書きましよう。また、 の慣用句の意味をあとのAからDの中から選び、 に書きましよう。

① えり を正して校長先生のお話を聞く。

(A)

② いつも 型 にはまった考え方だけでは、面白くない。

(D)

③ 世話 を焼きすぎると、その人のためにならない。

(C)

④ 最後の試合に負け、ぼくたちは なみだ を飲んだ。

(B)

世話
えり
型
なみだ

A まじめな気持ちで、物事に対しよする。

B くやしさを、じつところらせる。

C 進んで他人のめんどろを見る。

D 決まりきった形式で、こせいがな。

国語 二一七	第三学年及び第四学年の内容 慣用句	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日
月 日

次の に当てはまる言葉をあとの から選び、書きましよう。また、 の慣用句の意味をあとのAからDの中から選び、 に書きましよう。

① この本は、読むのにとっても がおれた。

② 姉にはいつも助けてもらっているので、 が上がらない。

③ 悲しいニュースを聞いて、 がいたむ。

④ 夏休みに、久しぶりに親子 入らずの旅行をした。

水	むね	頭	ほね
---	----	---	----

- A 労力がある。こんなんである。
- B 心配事などで、苦しい思いや悲しい思いをする。
- C 親しい者だけで集まっていること。
- D 引け目を感じて、対等な関係に立てない。

次の に当てはまる言葉をあとの から選び、書きましよう。また、 の慣用句の意味をあとのAからDの中から選び、 に書きましよう。

① 毎年年末は、 の手もかりたいくらいいいそがしい。

(B)

② あの人には、 をよんで年をごまかしている。

(A)

③ にのって、一気に勝ち進んだ。

(C)

④ 上司に好かれるために、 をする。

(D)

さば	ねこ	ごま	波
----	----	----	---

A 実さいより多く言ったり、少なく言ったりして数をごまかす。

B だれでもいいから、手伝いがほしいこと。

C 調子にのって、その時の流れにうまくのること。

D 人の機げんをとること。

次の に当てはまる言葉をあとの から選び、書きましよう。また、 の慣用句の意味をあとのAからDの中から選び、 に書きましよう。

① 校庭を五周走ることくらい、 朝飯 前だ。

② 選ばつりレーは、 手 にあせにぎる熱戦だった。

③ オリンピックへの出場が決まり、 うで が鳴る。

④ あいづち を打つばかりで、自分からは話さない。

(B)

あいづち	朝飯	手	うで
------	----	---	----

A うで前を発きしたくて、うずうずする。

B 相手の話あいて はなしに調子ちようしを合あわせて、受うけ答こたえをする。

C きわめてかんたんなこと。

D 見みたり聞きいたりしながら、こつふんしたりきんちようしたりする。

次の に当てはまる言葉をあとの から選び、書きましよう。また、 の慣用句の意味をあとのAからDの中から選び、 に書きましよう。

① 弟はがんばりすぎるので、時々 をかける必要がある。

② 時代の流れにさからえず、ついに を下ろした。

③ 今度の休みには、温せんに行つて 休めをする予定だ。

④ お年玉のことを考えると、 がおどる。

ブレーキ のれん むね ほね

A 期待やこうふんで、心がわくわくすること。

B その日のえいぎようを終える。また、商売をやめる。

C 体を休めて、つかれをいやすこと。

D 物事の進行を、止めたりおさえたりする。